

常新日新聞

定額一冊五錢 月刊五拾錢 半年五拾錢 一年五拾錢
發行所 常新日新聞社 電話 六三〇〇
印刷所 常新日新聞社 電話 六三〇〇

最も根本的 なもの

篠山 廉

【一】
教育者——父母兄弟乃至教師——の總明が、教育の結果に如何に大なる關係を有するかが、近時漸く深く理解されて来たのは、兒童の幸福の爲めに願る喜ぶべきことである。

殊に近代生活、現代世相が兒童の精神内容に及ぼす影響の複雑、奇變が全く驚くべきものであることを顧みれば、これに對する教師や父兄の、これが理解の爲めに要する聰明は、一段とその必要の度を増すことを知らねばならぬ。

社會生活の平穩で和樂に富んだ時代に於いては、自然に其の生活の様式も單純であり、一般に秩序が立つて居るから、兒童のこれから受ける影響も大方察せられたのであるが、今日の如き時代に於いては、兒童の行動や要求の意義は、聰明でない。教師や父兄には、

決して容易に理解され難い而してこれを指導し教養して行く方針も、十分適確に立て難いものである。

【二】
けれども、近時の教師や父兄には、兒童の教育の前に、その理解の必要あることは、一般常識として認められて來てゐる。これは兒童の發達の爲めに、隨つて又國家の爲めに大に祝福すべきである。

今日では、それ故に、大々として、今日以後の父兄母姉や教師は、單に漫然と兒童を愛すると云ふことに満足して居る事が出來ない愛すればこそ、兒童を知ること、努力せねばならぬ。かうした要求に答へる道は、今日では大に備はつて居る未だ十分とは云へないが、世の教師や父兄の教育の仕事を手助けしてくれる事が頗る多い。

ノート

鯛の雌雄は見分けにくいものだが尾の切れ込みの淺いのが雄で深いのが雌である

多くこの天稟に依頼して居なければ、今日に於ては決してそのみに依頼することが出來ない。兒童とは抑々何物であるかの研究が同時に必要である。これには現に學者の努力の結果に成つたものであり、又自身で兒童を研究的に見て行くことに依つて、己の天稟を補つて行くことも出來、とにかく兒童を眞に知らうとする熱望がこの要求を充たさせてくれるものである。隨つて、今日以後の父兄母姉や教師は、單に漫然と兒童を愛すると云ふことに満足して居る事が出來ない愛すればこそ、兒童を知ること、努力せねばならぬ。かうした要求に答へる道は、今日では大に備はつて居る未だ十分とは云へないが、世の教師や父兄の教育の仕事を手助けしてくれる事が頗る多い。

一冊の代金で

御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡回文庫 電六三〇番
（申込次第規則書進呈）

外科 X 光線科

性病科 外科科

安齊外科醫院
平町 田町
電話 四七五番



玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

体温計の検査日です

10日 検査新設 お宅の体温計は？

◎ 確な体温計を御使用下さい
◎ 毎月十日の検査日御利用下さい

西村屋藥局
平・二 電 三番

頭重て不快の方

フタバの磁氣

平町中仲町（電一九三番）

初夏の洋服賣出し

爽やかな初夏の御召料に内外の新製優秀生地
ボーラ單背廣が取揃へました
鼠セル單折襟上下 八圓より
シルクボーラ單折襟上下 九圓五十錢
上等シルクボーラニツ組 十五圓より

中・商學校の國防色制服を取揃へました
國防色制服上下（六號—三圓、七號—三圓十五錢、八號—三圓三十錢）
黒ギャバ三圓より、昭和三上三圓より
中學上等霜降小倉上下二圓二十錢より
（初夏向きの變色折襟上衣、又實用向き上衣澤山）
（取揃へました）

外に霜降、小倉服、又男女小供服が澤山取揃へて有りますから散歩がてら一度信用堂洋服店へ御立寄り下さい……

信用堂洋服店

平町三丁目一〇

御參詣團體募集

柳津・日光團體定員超過に付第二一回募集

一、柳津虚空藏尊（猪苗代湖白虎隊廻り）
出 申込切 六月九日
發 六月十日午前四時

一、鹽釜神社（竹頭稻荷參拜—仙臺正宗公三百）
貸切自車賃御一名様 金貳圓八十錢
六月十三日切 十四日午前二時出發

一、光（笠間稻荷廻り）
出 申込切 六月十五日
發 六月十六日午前一時

定員ハ各車共二十名
定員未滿ノ節ハ勝手午ラ延期致ス事モアリマス
尙御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

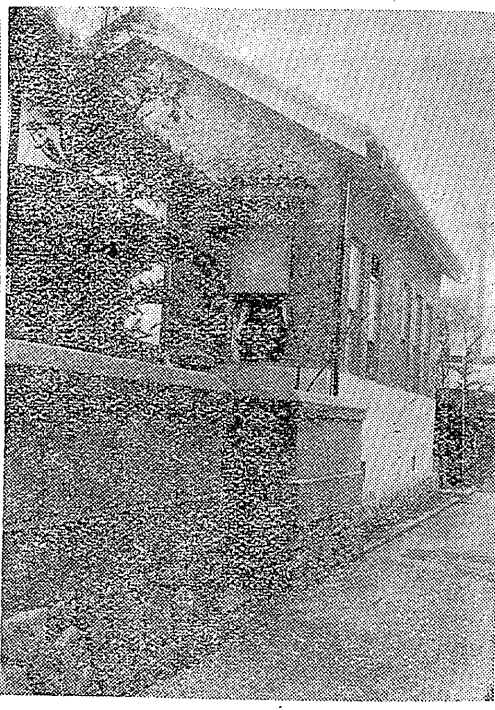
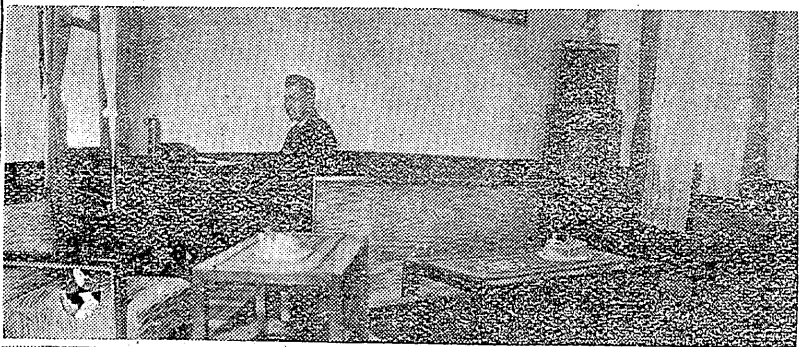
主催 尼子遊覽部
電話 六四〇番

わきが

効力本位、官許良藥海外に迄有名、價五十錢誰にも付かれぬ様送る双葉郡浪江下町西 田村本家

本社別館の新築落成 の館別社本 る成築新

本社別館の新築が落成しました。約三尺高さの基礎地盤の上にコンクリート造りの瀟洒な建物が葉櫻の新川端から、側面を覗かした處は一寸モダンな観があります。工事は新川町三森己代松氏の請負で(左官)鈴木(塗色)只野(建具)小菅(懸樋)菊田等夫々半町一流の工作者一帯が腕によりを掛け採光通風共に満点。東京日本橋の白木屋丸ほん石山家具店等の調度品が内部の装置に萬全を期し夜間の照明は日東商會の手になるシャンデリヤが輝いて居ります。此の明るく感じのよい別館の落成に依つて本紙製作の能率が倍加する事を讀者諸君に喜んで載します。



(右)新築外觀(上)社長室と應接間(下)編輯室の一部

警中の古豪 平商の新人を一蹴

昨日の第一回戦
次への期待甚大

地方ファン待望の警中対平商の今シーズン最初の野球戦は一日午後三時より警中グラウンドで舉行された。さすがに警陽の早慶戦と目される、兩雄の初顔合だけに今年の實力を打診すべく開始前よりファンは續々と球場に殺到、午後三時十分球審佐藤、壘審阿部、水竹三氏警中先攻で開戦、兩軍共に練習不足のためか失策多く結局左の如きスコアで警中まづ一勝した

中	2	0	1	2	1	1	3	0	0	1	0	1	5
平	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	5	5

昨年東北大會決勝戦まで馬を進め一躍偉名を走せた平商軍は古顔を僅か二名残すのみで森主將赤坂投手等の強者全部を送り出し全くの新人メンバーである爲め石川投手以下古豪連を擁する警中に果して善戦し得るや否やを危ぶまれて居た矢先初出場の平商橋本投手(三年)がよく投げた力量から推して背後の失策さへなければ相當の接戦となつたであらうと今度の戦を惜しまれて居るだけに次ぎへの期待甚大なものがある尚第二回戦は學校當局に支障なき限り来る八日(土)に行はれる豫定である、兩軍のメン

警炭の迎へ 壯烈な陸競

内郷村警炭陸競技部は昨日午後一時から高坂グラウンドで東北競技界の雄仙臺鐵道俱樂部チームを迎へ對戦したが四十四對十四の戦績で警炭側が惨敗した、記録左の如くである

- △百米一 一秒仙鐵北ノ坊
- △二百米一 四秒四仙鐵北ノ坊
- △四百米一 五秒四仙鐵北ノ坊
- △八百米一 二分五秒四仙鐵北ノ坊
- △八百リレー一 一分三秒八
- △八百リレー二 一分三秒八
- △八百リレー三 一分三秒八
- △八百リレー四 一分三秒八
- △八百リレー五 一分三秒八
- △八百リレー六 一分三秒八
- △八百リレー七 一分三秒八
- △八百リレー八 一分三秒八
- △八百リレー九 一分三秒八
- △八百リレー十 一分三秒八
- △八百リレー十一 一分三秒八
- △八百リレー十二 一分三秒八
- △八百リレー十三 一分三秒八
- △八百リレー十四 一分三秒八
- △八百リレー十五 一分三秒八
- △八百リレー十六 一分三秒八
- △八百リレー十七 一分三秒八
- △八百リレー十八 一分三秒八
- △八百リレー十九 一分三秒八
- △八百リレー二十 一分三秒八

乗車賃五割引で 出席の申込殺到

盛大豫想の縣下教育會

第五十一回縣下教育會總會は既記の如く来る十五、六の兩日警中講堂に開催されるが當番開地である平町各小學校長の斡旋によつて鐵道側の諒解を得今回からは出席會員に五割引乗車證を發行することになつた爲め參集會員は例年に倍加する模様で受付の平第一小學校へは毎日縣内各地よりの申込殺到し其の整理に大重であるが今三日現在で既にその數千五百を突破し、切までは豫定の二千名を超えらるものと見られてゐる

平町會 五日に開く

平町は来る五日午後一時より町會議事堂に町會を招集して左記諸案を附議する

- 一、平町男子青年學校學則制定の件
- 一、平實業公民學校廢止の件
- 一、昭和十年度平町歳入歳出豫算追加更生の件
- 一、區長辭任認定の件
- 一、區長及區長代理者推

事業資金 勿來市場借入

勿來市場は本月十六日頃から春蠶取引を開始する豫定なので昨日午前十時から役員會を開き事業資金借入に關して協議した

關田校に 大運動場

勿來町に新築する關田小學校の校庭を郡南代表の大グラウンドに當てるに決定したと

平町人事

- △三丁目 當時茨城縣多賀郡助川町字助川鈴木榮之氏三女すみ江
- △久保町 當時仙臺市原町南目田卷欽一氏長女淳子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子
- △長橋町 興津憲治郎氏長女和子

東京短期(前場)

期	米	先期	大坂
一節	三三三	三三三	三三三
二節	三三三	三三三	三三三
三節	三三三	三三三	三三三
四節	三三三	三三三	三三三
五節	三三三	三三三	三三三
六節	三三三	三三三	三三三
七節	三三三	三三三	三三三
八節	三三三	三三三	三三三
九節	三三三	三三三	三三三
十節	三三三	三三三	三三三

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

美味!
芳醇!

首なし幼児の死体が海岸に

大野村の悲惨事と関連

母子心中の片破か

昨日午後一時頃夏井村大字藤間字松原海岸で遊んで居た同字農炊之助四男坂本行雄(一)君が首のない一二才位の男児の屍體が渚に漂着したのを發見驚いて吾が家へ歸り此旨を知らせた爲め

大騒となり届け出に

依り平署から齊藤警部補が藤沼醫師と共に出張屍體は直に解剖に附したが死後一週間位を経過して居り他殺の形跡はなく溺死して漂流中首を魚類に喰ひ取られたものらしく素裸の上に肝甚の首がない爲め

身元が判明しないので取敢ず村役場に引渡し假

埋葬に附したが去月廿二日夫の病氣を嫌つて近所の者が交際して呉れぬのを悲感して家出した大野村字山小屋農後藤末太郎の妻カネヨ(二)が連れて行つた次男の信雄(三)らしく若し此の母子心中を遂げたとするれば附近に母親の溺死体がなければならぬと平署は消防組や青年團の應援を求め海中を捜索中である因に此の母子が家出した後でその亭主は三才の長男を絞殺して己れも縊死を遂げた悲惨事は當時本紙に報導した通りである

悲しい犠牲の

一二屍體發掘

残るは今日明日に

勇を鼓して作業進む

既報入山炭礦ガス爆發の際落盤の爲め埋没されて最後迄坑道に取残された坑夫五名の屍體の搬出作業は依然

として繼續中であつたが今曉五時二十分秋田縣仙北郡南檜岡村字小出生佐藤繁藏(三)の屍體を發掘し更に

午前七時半には若手縣警井郡奥田村大字中川字小向生佐藤文四郎(三)の屍體を發見し決死隊は更らに勇を鼓舞して残る三名の齊藤功

涙新らたに

けふ入山の葬儀

入山炭礦ガス爆發の犠牲となつた五十名の従業員の合同葬は本三日午後二時より入山グラウンドに於いて嚴肅に執行された是れが爲め全山は臨時休業して渡邊事務以下全職員及び遺族の外従業員代表、炭礦青年團、同軍人分會等二千餘名が参列向今回の犠牲者には原技師の豫備少尉を始め軍籍關係者十四名の多きに達して居る爲め第二師團管内聯合分會長谷藤少將及び眞山福島聯隊區司令官代理として宮崎副官の兩氏が臨席し全山擧げて弔意を表し涙新らたなるものがあつた

佐藤代議士 渡米祝賀會

既報萬國議員會議に出席の爲め渡米する佐藤庄太郎代議士の出身地である神谷村は村の誇りとして是れを喜び村長や村會議員が發起人となり昨日午後三時より同村小學校で盛大な送別會を開いた

生活改善 蛭田氏表彰

川部村農會技術員蛭田喜一氏は来る十日の時の記念日當日生活改善加勞者として生活改善中央會から表彰さ

明日のラジオ

四日

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「高松城の水攻」高田馬治
- 後六、二五 基礎英語講座
- 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「初夏の鳥」農學博士内田清之助
- 後八、〇〇 義太夫「増補生寫朝顔話」豊竹團司

明日の部

今晚も明日も北西の風天氣次第に悪くなる

診療所を 赤井に設置

三井三菱の救療寄附金に依る郡下の診療所は今回四百圓で赤井村に開設する事に縣からの割當が決定した

文藝浪曲家 酒井雲一行

文藝浪曲の創始者として各方面に有力な後援者を有する文部省囑託の浪曲家酒井雲師一行十六名は来る十六日聚樂館で平町ファンにデビューするが當日は盲人と七十才以上の高齢者には半額券を贈つて優待すると

交榮會發會式

内郷村總方部青年團員百餘名は團員の親睦を畫る爲め高橋氏を會長にして交榮會を組織し昨日午後二時から平町常盤亭で發會式を擧げた

平商中齒豫防

平商業學校は明日が全國齶齒豫防デーに當るので今三日

平裁判たより

豊間村大字豊間字柳町鈴木房次郎方自動車運轉手遠藤新太郎(一)は去る四月二十五日午前五時半頃トラックに鮮魚を満載し相馬郡日立木村谷津田政五郎方前國道を疾走中同方向に徒歩する同村字熱水高橋タツ(六)へ追突し腦症により死亡させその旨を所轄警察官に通告しなかつたので今三日平區裁判所小林判事より業務上過失致死併びに取締令違反で略式罰金六十圓に處された

看護婦急派 求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

平職業紹介所報告

求人を求める方

- △小店員 十六才 仕着小遣
- △配達人 二十才 委細面談
- △調理職 二十五才 尋卒
- △食事付月十圓
- △牛乳配達 二十五才 高卒 月十三圓
- △回職を求める方
- △水配達 二十五才 高卒
- △外交員 二十一才 尋卒
- △職工 二十六才 中卒
- △炊事婦 四十七才 尋卒

明日の部

前五、四〇 小鳥の鳴聲 信洲戸隠山より

- 前六、三〇 基礎獨語講座 武内大造
- 前七、〇〇 朝の修養「無常觀と積極主義」岡田宜前
- 前一〇、一〇 幼児の時間 唱歌「ピアノ」ダン道子
- 前一〇、三〇 家庭講座 「梅雨期に起り易き病氣の豫防と手當方」醫學博士吉村利雄
- 後〇、〇五 音曲「飛行機遊び」柳家つばめ
- 後一、〇〇 野球試合實況
- 後二、〇〇 小學生尋三の時間 國語「蠶と生糸の話」

看護婦急派 求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島 証史

(監) 野口 〇

第三百二十九回

情 艶 (六)

そこで、女装に一層のものがきをつけて上等社會のあつぱれ小貴婦人になりきり夜會の席に、茶の會に當路大官に近づく機会をつくり大久保に接近し、人斬良順の名を辱しめない働きをしようといふのだつた。

「といふ、まア話で延遠館あたりに入りするまでにこぎつけましたのに、たう貴方にめつかつてしまつたのですわ」

おふくの良順は、ながくと女装の顛末を語り終つて恨めしうに江藤を見上げた。

「なるほど、なか／＼面白い話ぢや。そのお主の大久保暗殺の手段方便として先づこのおれに接近したのだな。危くおれは大久保殺しの幫助罪にまきこまれるところぢやつた」

江藤もべつな意味でうらめしさうに絶世の美女おふく——人斬りの異名をとる良順をあらためて凝視するのだつた。

「本當に、もう一息で、たわ」

おふくの良順は臆面もなく媚笑を向けた。

「なにが一息なものか、恐ろしい奴だ」

「そ、そのおそろしい奴をどうぞ江藤さま、この場で存分にして下さいまし」



おふくの良順は、觀念したものが振袖姿の美しい身體を江藤の前に再び投げ出した。

「うむ、よい覺悟だ。明治白浪を名乗る五人男の一人だけはあるが、おふくいやさ良順、生憎おれを殺す氣にはなれぬよ」

「まア、どうして？」

「おのれは、さいせん何とぬかしたな……江藤ともあらう偉い方が料亭の奥座敷で女に化けたやくざ男を殺したとあつては、お名前に汚染がつく……と言つたではないか」

「なる程……ぢや、此の儘……」

「うむ、勝手に失せろ……だが人斬り……」

「へえ」

「大久保は到底殺せぬぞ。それより大隈の懇望だ。英國公使のところへその振袖姿のま、でらしやめんに

もいまは廢業のかたち……だが、時勢に取残された此の男にもたつた一つの生の執着……それは情無いか女女の幻だつた。義と俠と劍と血に粉飾された旗本上りが女の口を口の端へ乗せるだけでも大きな墮落だと心得てゐるのだが、生きる力を失ひ、世を白眼冷視するを餘儀なくされあまつさへ食はんが爲めに非常の苦心努力を要する今日となつては、生の對照は甘い涙に似た感情をやんわり抱いてくれるそのものだつた。

女の幻……。大志賀の眼前胸中を去來するものは、この日頃尋ねあぐんでゐるかのとおたつた。

石炭一〇〇パーセント
サーヴキス

時節柄 値下げ!
ダンゼン

一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
特塊同 金參拾五錢

品質が優良 デナケレバ
目方が正確

此の点は當店を絶対に御信用願ひます
市内は一俵より配達致します
電話三七番

阿部石炭商店

吉田眼科病院

平紺屋町電話六番

醫學士 吉田久雄

力ヒ焼
土 新發賣
産雲丹みそ

魚問屋

最優最志
大賀平
日本盛
命盛
代理盛
店理盛
榮

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四二番)

内兒科	院長 石山謙二郎
小兒科	醫學博士 五十嵐雄二 (電話三七一〇番)
婦人科	醫學博士 五町久藏
皮膚泌尿器科	醫學士 大澤正
花柳病科	醫學士 前山謙郎 (電話二七二番)
外科	醫學博士 石山謙郎
耳鼻咽喉科	醫學士 大澤正
衛生試驗所	醫學士 石山謙郎
藥劑局	局長 吉本孝平
藥務局長	鈴木木寶雄

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
◎病室完備 入院隨意

五月武者人形 大賣出し

御座敷幟、布鯉、鎧、兜
諸道具類一式

例年の通り豊富陳列致しました。是非御一覽之程御待ち願ひます。値段は特に勉強いたします。但珍物として勿來關人形、銚絨鎧

平町三丁目東通

叶加藤商店